

令和4年度

事業報告書

社会福祉法人

報恩積善会

令和 4 年度 事業報告書

1. 事業成績関係

社会福祉法人 報恩積善会

(1) 入退所状況

(令和 5 年 3 月 3 1 日現在)

区分	男性	女性	計	備考
前年度繰員	26	41	67	
令和 4 年度入所	3	6	9	
計	29	47	76	本年度取扱人員
令和 4 年度退所	0	1	1	
令和 4 年度死亡	4	3	7	
計	4	4	8	本年度取扱減人員
令和 4 年度末現在	25	43	68	次年度繰人員
令和 4 年度入所取扱人員			76 名	
令和 4 年度入所延人員			24,295 名	

(2) 創立以来の入退所状況

区分	入所人員
男性	611
女性	713
計	1,324
創立以来入所実人員	
1,324 名	

(3) 実施機関調べ

委託機関	男性	女性	計
岡山市	14	35	49
総社市	1	1	2
倉敷市	2	1	3
瀬戸内市	0	0	0
新見市	1	4	5
真庭市	0	0	0
美作市	1	0	1
津山市	2	0	2
和気町	0	0	0
玉野市	1	0	1
高梁市	0	1	1

美咲町	3	1	4
計	25	43	68

(4) 利用者の入所前状況

前住所区分	男性	女性	計	割合
居宅から入所	9	11	20	29.4%
病院から入所	8	20	28	41.1%
他施設から入所	8	12	20	29.4%
その他	0	0	0	0%
計	25	43	68	100%

(5) 年齢構成

	64才 以下	65才 ～69才	70才 ～74才	75才 ～79才	80才 ～84才	85才 ～89才	90才 ～94才	95才 ～99才	100才 以上	計
男	0	2	9	5	4	5	0	0	0	25
女	1	1	5	9	7	12	7	1	0	43
計	1	3	14	14	11	17	7	1	0	68
最高年齢	男性 89 才 女性 98 才									
平均年齢	男性 78 才 女性 83 才 男女平均 81 才									

(6) 死亡原因

	癌	老衰	白血病	肺炎	脊髄炎	心不全	その他		計
男	0	0	0	2	0	0	2	0	4
女	0	1	0	0	0	0	2	0	3
計	0	1	0	2	0	0	4	0	7

(8) 月額負担状況

階層	金額	男	女	計
1	0	1	4	5
2	1,000			
3	1,800			
4	3,400		1	1
5	4,700	1		1
6	5,800			
7	7,500		1	1
8	9,100		2	2
9	10,800			
10	12,500		1	1
11	14,100	1	1	2
12	15,800			
13	17,500		1	1
14	19,100	1	2	3
15	20,800			
16	22,500			
17	24,100		1	1
18	25,800			
19	27,500			
20	30,800	1		1
21	34,100	1	1	2

階層	金額	男	女	計
22	37,500	2		2
23	39,800	1	6	7
24	41,800	1	3	4
25	43,800	1	2	3
26	45,800	2	5	7
27	47,800	2	2	4
28	49,800	1	1	2
29	51,800	1	2	3
30	54,400	1	1	2
31	57,100			
32	59,800	3	1	4
33	62,400	1		1
34	65,100			
35	69,100			
36	73,100	1	1	2
37	77,100			
38	81,100	1	1	2
39	下記参照			
	82,300	1		1
	102,100		1	1
	117,990		1	1
	121,500	1		1
	計	26	42	68

39 階層 (年額収入 1,500,001 円以上) の人は、(150 万円超過額×0.9÷12 月) +81,100 円

※ 備考 上表にかかわらず、140,000 円を当該徴収月額とする。

2. 地域福祉関係

(1) 老人短期入所事業

種類	利用者数	延日数	委託機関	利用料（一泊）
ショートステイ	(男) 0名	(男) 0日	岡山市 (定員1名)	生活保 3,760円
	(女) 0名	(女) 0日		その他 2,030円
短期入所自主事業	(男) 3名 (女) 2名	(男) 8日 (女) 4日	自主事業	2,030円
計	5名	12日		

(2) ショートステイ利用状況

年 月	利用者数	延日数
R4年4月	0	0
5月	1	2
6月	0	0
7月	0	0
8月	1	4
9月	1	2
10月	0	0

年 月	利用者数	延日数
11月	1	2
12月	0	0
R5年1月	0	0
2月	1	2
3月	0	0
計	5	22

(3) 配食・会食サービス実施状況

種類	実施形態	利用者数
配食サービス	毎週月・水・金曜日の昼食	11名
会食サービス	毎日・毎食可	7名

(4) 施設の貸与

感染状況により地域団体等への貸し出しはなかった

3. 処遇関係

(1) 主な年間行事実施状況

令和4年4月	ひな祭り・お花見・お花見ドライブ
5月	
6月	大掃除
7月	地域交流会・蓮見学（感染状況により実施せず）
8月	七夕祭り・盂蘭盆・納涼の夕べ
9月	敬老の日・創立記念日

10月	運動会・秋の検診・ほうせき☆祭り
11月	積善会祭（規模を縮小し開催）
12月	クリスマス会・忘年会・餅つき・すす払い・門松づくり
令和5年1月	新年会・初釜（感染状況により実施せず）
2月	節分会
3月	彼岸会・健康診断

地域に向けての各行事は縮小又は中止、施設内行事も規模縮小や分散して実施した。

（2）月間行事実施状況

誕生会は各階分かれて実施、職員も一緒にお祝いを行った。

売店、移動図書、常会等については計画どおり実施できた。

喫茶については、感染状況により中止することもあったが工夫をしながら実施した。

消防訓練2回と災害時の避難訓練を1回実施、地域の連携も検討しながら入所者の方の安全を図るよう訓練を実施した。また地域の防災訓練にも一部職員が参加し交流を図った。

（3）クラブ活動実施状況

種別	参加者数	回数	種別	参加者数	回数
リハビリ体操	全員	週1	輪投げクラブ	16名	月2
生け花クラブ	12名	週1	カラオケクラブ	16名	月4
俳句クラブ	1名	月1	手芸クラブ	5名	月2
ダンスクラブ	14名	月1	習字クラブ	7名	月1
茶道クラブ	4名	月1	園芸クラブ	3名	週1
押し花クラブ	10名	月1	ほうせき同好会	7名	月2
水彩画クラブ	4名	月1	マイクラフト	2名	週2

俳句、カラオケ、水彩画クラブ、ほうせき同好会、マイクラフトについては地域住民も参加し、入所者の方とも交流を図りながら楽しみと地域交流の場となっている。

感染状況に併せてボランティアの受け入れも中止した為、実施できない月もあった。

施設外活動実施状況

桜見物、イルミネーション見学は、ドライブを兼ねて複数回に分けて実施し好評であった。初詣、蓮見学、紅葉見学は感染拡大状況により実施しなかった。

（4）入所者の健康管理

第1回定期検診（10月）、インフルエンザ予防注射（11月）、胸部レントゲン及び血液検査（3月）、コロナワクチン接種（1月）

4. 実習受け入れ状況

- ①介護等体験 0名 明誠学院高等学校 2名
- ②玉野総合医療専門学校 0名
- ③中学校職場体験 香和中学 0名 京山中 0名
- ④社会福祉協議会職場体験 0名
- ⑤ノートルダム清心女子大学 2名

感染状況により多くの実習が中止となったが、明誠学院の実習にて環境整備や福祉についての講話、香和中学校へ出向いての講話等を実施し学生への福祉教育を行った。

5. 職員の処遇

(1) 施設外研修

月	出張先	参加者	出張内容
4月	ZOOM ZOOM ZOOM	介護職員 事務長 主任介護職員	IDO オンラインセミナー IDO 法改正対応セミナー チームケアの作り方・高め方
5月	ZOOM ZOOM	主任栄養士 主任介護職員	リーダーとリーダーシップ 聞く力をパワーアップ
6月	ZOOM	施設長	メキメキと成長する人事考課研修
7月	ZOOM 瀬戸内市 ZOOM ZOOM ZOOM ZOOM	施設長 相談員・主任介護職員 主任栄養士 主任栄養士 主任介護職員 相談員	福祉と株式両方の経営を経験したリーダーマネジメント 第9回 せとうち交流会 岡山市ブロック養護老人ホーム栄養部門会議 ロジカルシンキング リーダーに求められる業務管理 ハラスメントの正しい理解
8月	ZOOM ZOOM ZOOM ZOOM ZOOM ZOOM	施設長・事務長 主任栄養士 主任介護職員 施設長 施設長 施設長	経営協セミナー 声掛けや面談の注意点 人材育成の理解とアプローチ これから社会福祉法人に必要なこと 数値化の鬼セミナー 経営者の優先順位・組織課題は何から手を付ければいいのか
9月	ZOOM ZOOM ZOOM ZOOM	施設長 主任介護職員 主任介護職員 施設長	No2 に共通する能力とは 成果を上げるチームづくり チーム分析と課題解決 配食事業セミナー
10月	岡山市 ZOOM	事務長 栄養士	公正採用選考人権啓発推進員研修会 岡山県特定給食施設関係者研修会

	岡山市 ZOOM ZOOM ZOOM	事務長 施設長 施設長 施設長	せとうちの郷交流会 週次管理のすすめ UD アンバサダー講座 全職員をハイパフォーマンス創出方法
11月	ZOOM ZOOM ZOOM ZOOM	施設長・介護職員 主任介護職員 事務長 主任栄養士	養護老人ホーム職員研修困難事例検討会 いつもと違う部下に気づく・対応できるライン 問題社員への対応 できる人の報連相スキル
12月	岡山市 ZOOM ZOOM	事務長 主任栄養士 主任介護職員	認知症カフェ全体交流会 快適な職場をつくる為の7つのコツ 利用者満足度の高め方
1月	ZOOM ZOOM ZOOM ZOOM ZOOM	施設長 事務長 事務長 事務長 施設長	経営計画の本質は経営方針にあり 多様化する時代の採用戦略 会議資料の作り方 社会福祉法人の知己における公益的な取り組み情報交換会 社会福祉法人の経営力強化
2月	ZOOM 岡山市 ZOOM ZOOM ZOOM ZOOM ZOOM ZOOM ZOOM ZOOM ZOOM	施設長 施設長 主任介護職員 施設長 主任介護職員 事務長 介護職員 施設長・介護職員 主任栄養士 施設長 主任栄養士	外国人採用と人づくり 公正採用選考人権啓発経営者研修会 快適な職場をつくる為の7つのコツ 採用単価が1/3失敗しない採用のコツ チームで集客力を高めるアプローチ 人事労務の基礎知識 人材キャリアマネジメント研修 養護老人ホーム職員研修困難事例検討会 岡山市ブロック養護老人ホーム栄養部門会議 岡山県経営協セミナー 自己評価と他者評価
3月	岡山市 ZOOM ZOOM ZOOM ZOOM ZOOM	施設長・ケアマネ 施設長 事務長 主任介護職員 施設長 事務長	集団指導 社会福祉法人役員セミナー 働き方改革セミナー 円滑なチームの人間関係構築の秘訣 後藤コンサルタントセミナー IDO オンラインセミナー実践報告会

(2) 施設内研修

実施回数	研修名	対象者
毎日	朝礼と職種別ミーティング	出勤職員全員
毎月1回	常会	職員と入所者
年1回(2月)	事業計画検討会議	役職者
年1回(3月)	事業計画会議	全職員
年2回(7・2月)	防火避難訓練	職員と入所者
年1回(11月)	災害時避難訓練	〃
	(職員研修・職員会議)	
4月	ユニットケアに向けて	全職員
5月	養護老人ホームと報恩積善会	〃
6月	感染症と対策	〃
7月	個別ケア	〃
9月	高齢者虐待防止	〃
11月	OJTと新人育成	〃
1月	BCP	〃
3月	ケアについて振り返り	〃
毎月	オンライン法定研修	常勤職員及び非常勤介護職員

(3) 職員健康管理

全職員年1回の定期健康診断、夜間勤務のある介護職員は年2回行った。調理員には、毎月1回の検便とノロウィルス対策の検便を実施した。11月にはインフルエンザワクチンの接種を行った。

(4) 広報活動・情報公開

入所者、家族、後援会会員を対象に広報「ほうせき」を年1回発行。また「HOUSEKI NEWS LETTER」を3回発行し地域への広報を行った。併せてホームページを活用し活動の予定や報告、財務諸表の公開など積極的な情報開示を行った。SNSを活用し日常の活動や入所者や職員の取り組み、また京山公民館等にもチラシの設置や取り組み紹介等広報を行った。

苦情解決のために第三者委員会を設置、日々の悩みや相談はその都度個別に傾聴し改善へつなげるよう取り組みを実施している。

(5) 福利厚生

職員親睦会助成、独立行政法人福祉医療機構、岡山県民間社会福祉従事者共済制度・育成制

度、福利厚生センター、岡山市勤労者サポートプラザへの加入を継続し職員全体の福利厚生の充実を図った。資格取得、自主的な外部研修への参加希望の職員に対して、勤務調整や参加費の助成等を行った。

6. 栄養管理

栄養基準量を定め、献立は入所者の希望を取り入れた。また、嗜好調査や日々の残菜調査を実施、味付け、盛り付けを工夫し旬の食材を積極的に取り入れ季節感のある食事を提供した。

食事はカフェテリア方式を基本とし、元気な方には好みに合わせて食事がとれるよう、また感染対策として引き続き各階分散してゆっくりと食事をとっていただけるよう工夫している。食堂及び各階食事を食べるスペースを装飾し明るく楽しく食事ができるように工夫している。

7. 地域における公益的な活動

岡山市社会福祉協議会の助成金を活用し、民生委員と協働にて地域の高齢者世帯へお弁当配布を行った。配布に合わせて身近で困っていること等をお聞きしつつ、職員も地域の高齢者と交流を図ることができ皆さん喜ばれている。「ふれあい講座」は感染状況により中止が続いたが9月に開催し、助成金を活用してお弁当の配布も行い14名程の参加があり地域交流の場となっている。毎月第4金曜日は認知症カフェ「ほほえみカフェ」を開催。ボランティアの協力もあり毎回10名程度の参加者にて、認知症の啓発と共に入所者も参加することで地域住民との交流の場にもなっている。地域の方の集まる場所が少なくなっているののでうれしいと近隣の方を中心に毎月開催している。

入所者の社会参加とやりがい作りの「マイクラフト」は、地域の方も参加し週2回継続した活動を実施。製作した作品は子ども食堂を通じて地域の子育て家庭にお渡しした。「エコバックでレジ袋削減活動」は、入所者の方のやりがい作りにもなっており数名の方が継続して制作を行っている。エコバックはコンビニやパン屋、銀行や公民館等にも置かせて頂き、地域全体での取り組みとなっており多くの方に報恩積善会を知って頂くきっかけにもなった。

ふれあいホール使用について、外部へ貸し出し、地域の祭りや行事もすべて中止となった。毎年恒例の「積善会まつり」は規模を縮小し開催。近隣の方を中心に参加された方や職員も交流を図り来年度に向けてよい場となった。

今年は津島生活学校（津島学区のボランティア団体）と協働し、毎月京山公民館で実施しているフードドライブで集まった物品を受け取り、近隣のこども食堂へ提供する中間支援の取り組みは継続し、こども食堂だけでなく母子家庭の支援団体等幅広く物資を届けている。他団体との連携を図ると共に、地域でのつながりを作りながら支援につなげることができた。

地域住民が運営している「つしまみんな食堂」と協働。一昨年より新型コロナの感染状況により施設内での開催はできていないが、報恩積善会もボランティアの周知、チラシ配布、フードドライブでの物資支援や連携、入所者の社会参加活動との連携等できる活動を継続している。